宮城県の死亡野鳥から、A型鳥インフルエンザウイルスの簡易検査陽性反応を確認！！

宮城県栗原市で死亡したマガンから、A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が確認されました。

高病原性と確定されれば、今シーズン国内初となる高病原性鳥インフルエンザ確認事例となります。

改めて野生動物侵入防止や消毒などの発生予防対策を徹底するとともに、毎日の健康観察で異状を認めた場合は、直ちに通報してください。

＜経緯＞
10月27日（火）
- 宮城県栗原市でマガン（死亡個体）１羽を回収。
- 同日、簡易検査でA型鳥インフルエンザウイルス陽性反応を確認

＜対応＞
- 今後、高病原性鳥インフルエンザウイルスの遺伝子検査を実施
- 今回の回収地点周辺１０ｋｍ圏内を野鳥監視重点区域に指定し監視強化



◆病原性は未確定であり、**高病原性鳥インフルエンザが確認されたわけではありません。**
◆現在の国内野鳥のHPAI発生状況は環境省HP（https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/）を参照

【発生予防対策のポイント】



- 衛生管理区域内に入る車両の消毒！
- 野生動物侵入防止対策の徹底！
- 鶏舎出入口や周辺の消毒徹底！
- 対策の点検・補修・改善！
- 毎日の健康観察！
- 早期発見、早期通報！

京都府中丹家畜保健衛生所
福知山市字半田371-2
☎：0773-25-1860
＊休日・夜間は転送されます